

☆第5次川島町総合振興計画 全体構成図

基本構想

まちづくりの基本方針

<基本理念>

- 人・自然・景観を大切に魅力あふれるまちづくり -
- まちの資源と都市近郊を生かした、人で賑わうまちづくり -
- まちが人を育み、人がまちを育む活力と協働のまちづくり -

<将来像>

笑顔が笑顔をよび 出会い、ふれあいを
大切にすまち かわじま

計画の人口フレーム（平成32年）【案】

- 将来人口：推計人口 およそ20,500人見込
※自然動態・社会動態を推計した人口
- 目標人口 およそ21,500人見込
※以下の施策を遂行した場合の目標とした人口

まちづくりの背景

社会状況の変化

- ・人口減少社会の到来と少子高齢化の進行
- ・人口の一極集中化の進行
- ・持続可能な循環型社会の構築
- ・「安全・安心」への関心の高まりと地域のつながりの必要性
- ・高度情報化の展開
- ・経済のグローバル化と産業構造の変化
- ・非正規雇用者の増加と消費の停滞
- ・圏央道整備に伴う人・物の動きの変化
- ・地方分権、規制緩和など地域のまちづくりを取り巻く流れ

川島町の魅力

- ・川に囲まれた豊かな自然環境
- ・川島インターチェンジ開通による広域的な交通アクセスの更なる向上
- ・イチジクのブランド化、「川越藩のお蔵米」等農業の振興
- ・1年を通しての数々の行事イベントの開催
- ・ホンダエアポート、平成の森公園、大型ショッピングモール、川島工業団地・川島インター産業団地など、豊かな要素が織り成す「職・住・遊」のまち

将来像の実現に向けたまちづくり

まちづくりの基本目標

基本目標 1

- 一人ひとりが安心して元気に暮らせるまちづくり(保健・医療・福祉)

基本目標 2

- 美しい景観・自然が守られるまちづくり(自然・生活環境)

基本目標 3

- 自然と調和を保ち快適に定住できるまちづくり(都市基盤・土地利用)

基本目標 4

- 活力ある産業のまちづくり(農業・商業・工業・観光)

基本目標 5

- 自己実現を支援する生涯学習のまちづくり(生涯学習・教育)

基本目標 6

- 町民との協働でつくりあげる支え合いのまちづくり(自治・コミュニティ)

基本目標 7

- 町民に開かれた計画的なまちづくり(行財政運営)

まちづくりの課題

少子高齢化に対応した福祉・医療の充実

産業の活性化と雇用の場の確保

快適な生活環境を保障する自然・景観の保全

町へのアクセス、交通手段の改善

町民との協働によるまちづくりの推進

自立した自治体経営の推進

基本計画

【健康づくりの推進】【福祉社会の形成】【児童福祉・子育て支援の充実】【障がい者福祉の充実】
【高齢者福祉の充実】【青少年の健全育成】【社会保障の充実】

【循環型社会の形成】【ごみ処理の充実】【公園・緑地の整備】【河川の整備】【農村集落の環境整備】

【秩序ある土地利用】【市街地の整備】【住宅・住環境の整備】【上水道の整備・充実】
【生活排水・雨水処理の充実】【道路の整備】【公共交通機関の充実】

【新しい産業の振興】【農業振興と農地保全】【商業の振興】【工業の振興】【観光の振興】
【労働環境の改善】

【生涯学習のまちづくりの推進】【社会教育の充実】【幼児・学校教育の充実】
【スポーツ・レクリエーションの充実】【芸術・文化の振興】【国際化の推進】

【自治・コミュニティの振興】【男女共同参画社会の形成】【人権の尊重】【交通安全の推進】
【消防・防災体制の充実】【消費者保護】

【町民参加の推進】【行政運営の推進】【財政運営の充実】【電子自治体の推進】
【地方分権・広域行政の推進】